



「はたら」

笑顔とありがとう

があふれるわが母校

学校教育目標「やさしく かしく たくましく」

深谷市立幡羅小学校 児童数 461 名(男子 237 名 女子 224 名) Tel:048-571-0517



挑戦・体験を楽しめたかな?『5Days』&『ゴールデンビンゴ』!

幡羅小学校 校長 嘉藤 央(かとう なかば)

「ゴールデンウィークをたっぷり楽しもう!」

忙しすぎるといわれる小学生とご家族!もう少し思いっきりみんなと一緒に楽しんで欲しい!そんな思いから、幡羅小学校として、5月2日~6日の5日間を「笑顔とありがとうチャレンジ5デイズ」としました。この5日間はいわゆる宿題をなくし、家族や周りの人たちと一緒に、たくさんの挑戦や体験を楽しむ5日間としてみました。(学校としても挑戦です。)

5月7日(木)の朝は、元気な笑顔と「ゆっくり休めた!」「たくさん出かけた!」「楽しかった!」や、中には「ずーっとサッカーだった!」という声も!(これも大切な「挑戦」ですね!)宿題なしで、6日の夕方「宿題終わった?」という声がない5連休にできたらという想いもあり、欠席が少なく、元気に登校できたことは、とてもよかったと思います。

もう一つの取組、児童会の皆さんが考えてくれた『ゴールデンビンゴ』!ゴールデンウィークでがんばりたいことを考えて書いたあと、「16マスのビンゴに挑戦!」はとても面白いアイデアでした。「朝ごはん」「あいさつ」「早寝早起き」

「くつそろえ」から「目標達成」「毎日勉強」「読書」や、幡羅小学校の目指す「笑顔とありがとうのあふれるわが母校」にも関連付けてくれたのか「家族で一発ギャグ」というマスも。よく考えられた内容でした。このビンゴで、休み中にたくさんのチャレンジ、そして笑顔があふれていたと思います!

保護者の皆様、「笑顔とありがとうチャレンジ5デイズ」へのご理解、ご協力、本当にありがとうございました!

引き続き、幡羅小学校(の取組)を楽しんでください!!



(※『宿題』や『勉強』も大切。これから、頑張って学力向上へも挑戦しましょう!)

「命」は「時間」と考える。全校朝会(人権朝会)

5月7日の全校朝会では、人権朝会として、『命』は『時間』という話をしました。「命って何?」「体のどこにある?」と考えると難しいですが、日野原重明さん(2017年に105歳で亡くなった、有名な医者さんです。)の考え方が、とても分かりやすかったので紹介しました。それは、「いろいろなことに使っている時間が、命」と考えるとわかりやすいという考え方です。



校長室前の掲示です!

児童の皆さんには3つのことを心の中で考えてほしいと伝えました。

1つ目、自分の「命」、「時間」をぜひ大切に使ってほしい。

(小学校の時間はたった6年間です。いろいろなことを学んでほしいと思います。)

2つ目、周りの人の「命」、「時間」も大切にしてください。

(自分にとって大切な「命」、「時間」は、ほかの人にとっても大切であるということです。)

3つ目、「時間」をだれかのために(人のために)少しでも使える人になってほしい。

(困っている人、元気のない人がいたら、声をかけ、助けてあげてください。)

幡羅小の子供たちが、自分の、周りの人たちの「命・時間」を大切にできる人になって、そして、一人一人が幸せになって欲しいですね。

いつも子供たちが学校で安心して学べるように、保護者の皆さん、地域の皆さんが「命」ともいべき「時間」をお使い、ご協力いただいていることに、改めて感謝申し上げます。

深谷の字「6つの誓い」

～渋沢栄一翁の心を受け継ぐ深谷教育～



夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子



忠徳の心(まごころと思いやり)



立派な精神(夢とこころざし)



忠徳の心(まごころと思いやり)

夢

私は、夢を叶えて努力します。

夢は、人生を豊かにする。目標を立て、自ら努力し、「こころざし」を達成していきます。

毎日勉強

私は、毎日勉強します。

勉強に授業にのぞみ、授業から学んで、新しい発見は得られます。勉強は苦ではありません。毎日授業を楽しみましょう。

体験

私は、たくさん体験します。

実際に身体をもって学ぶことが、新しい発見ができます。得意で得意でない様々なことに挑戦し、体験を広げていきます。

すすんであいさつ

私は、すすんであいさつします。

あいさつは、他者との心を繋ぐ大切なコミュニケーションです。「おはよう」「いただきます」「ありがとうございます」など、言葉で心を伝え合います。

くつそろうえ

私は、くつそろうえします。

くつそろうえは、他者の心を理解し、共感する大切なコミュニケーションです。相手の立場や気持ちに寄り添います。

心のこもったことば

私は、心のこもったことばを言います。

「ありがとう」「ごめんなさい」「おはよう」などの言葉は、心から伝わる大切なコミュニケーションです。相手の気持ちに寄り添い、心から伝えます。